

令和6年1月

天草地域療育センターだより



〒863-0043 天草市亀場町亀川1886番地2
天草市社会福祉協議会本渡支所内
電話：23-7049 Fax：22-4985
メール：hondo@amasha.jp

明けまして おめでとうございます

本年も様々な情報をお届けしていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。
今月の天草地域療育センターだよりでは、『コミュニケーションが取りづらい』
『読みにくさ・見え方の違い』についての情報をお届けします。



○親の集い

子育ての悩み、試してみて良かったことやお子さんの近況など情報交換の場です。

***毎月第3木曜日開催（奇数月 10：00～11：30・偶数月 13：00～14：30）**

今月の『親の集い』は

○日 時：**令和6年1月18日（木）10：00～11：30**

○場 所：天草地域療育センター 会議室（天草市社会福祉協議会本渡支所内）

よくあるご相談

なかなか言葉が出ず
**コミュニケーションが
取りづらい**

行動理由①：漠然とした不安があり、
積極的に話したらない。

人より不安を感じやすい子がいます。
特に幼いうちは漠然とした不安を感じ
やすく、外の世界との接触を嫌うことも
あります。



行動理由②：言葉はわかっているも

「会話・やりとりが苦手」

しゃべらないけれど指差しなどで意思の疎通
ができるようであれば、「会話そのもの」が苦手な
のかもしれませんが。

●苦手な理由の例

- ①質問が曖昧で何と答えていいかわからず、戸惑ってしまった。
- ②相手の質問を理解したが、そのまま終了した。
- ③特に関心のある話題ではなかったのでスルーした。・・・等

たとえば

- ・2歳を過ぎても言葉が出ない
- ・話しかけても無視する
- ・自分が話す番になると急に黙ってしまう等

言葉を使わなくてもできるコミュニケーションをとり、楽しい時間を過ごしましょう。
お父さん、お母さんと関わるのが楽しいと感じるようになれば、外の世界への不安も静まり、自然と話すことにも繋がってくるでしょう。



- ・ふれあい遊びでコミュニケーションをとる。
▶ふれあい遊び：ブランコ遊び、わらべ歌遊び、タッチ遊び（体の部位を言って同時にタッチしてみる）等
- ・同じ行動をするだけでもOK。

「オレンジジュースとお茶、どっちが飲みたい？」や「積み木で遊ぶ？」などのように、答えやすい質問（YES、NO で答えられる等）を心掛けると、子供も話しやすくなるでしょう。




- ・興味がある話題を通してやり取りを広げましょう。
- ・反応がなくても「ありがとう」「はい、どうぞ」など、コミュニケーションに必要な言葉のやり取りを繰り返し伝えていきましょう。・・・伝わった!という成功体験が大切!

12月8日(金)～10日(日)に『くまもとハートウィーク2023 ふれあいイベント in 天草』が開催されました。『発達障がいの心理的疑似体験』のブースにも120名以上の方がお立ち寄りくださり、5つに分けたコーナーで様々な感じ方を体験して頂きました。


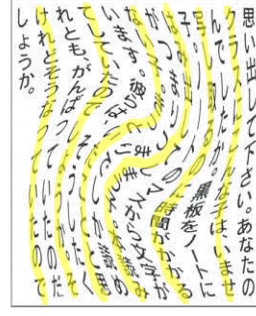
☆読みにくさ・見え方の違い


コーナーの一つ『読みにくさの体験』では、パソコンを使って様々な見え方の体験をして頂きました。

こういう感じに見えていたら…



マーカーで印を付けるとわかりやすいかも！

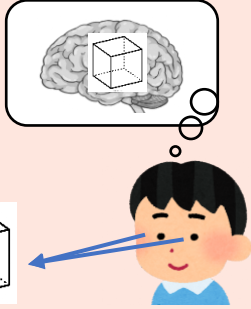


なぜ、そう見えるの？

読み書きや計算、運動の苦手さは、視覚機能の問題と関連していることが多くあります。視覚機能とは、私たちの生活のなかで「見ること」を活用するための総合能力のことで、大きく分けて次の2つがあります。

① 視覚情報を脳に入力する機能

- 視力
- 眼球運動
- 両眼のチームワークなど



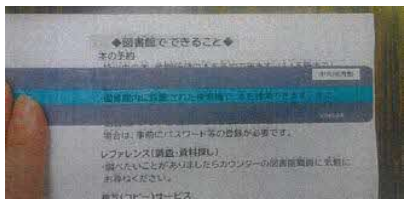
② 視覚情報を脳で処理する機能

- 視覚空間情報を認知し、イメージする機能
- 自分の体、体の動きをイメージする機能

視覚機能がうまく発達していない場合、学習のつまづきから「できない」が重なり自信を失ってしまうことがあります。文字が上手く読めない子どもは、ちゃんと読もうとしないのではなく、うまく読めなくて困っているのかもしれません。どうしたら読みやすくなるか一緒に考えて工夫できるといいですね。また、「いつも頑張っているね」と褒めながら少しずつ読む力を育てていきましょう。

【リーディングトラッカー】

読みたい行にだけ集中して読むことができます



<他疑似体験も含めた、参加者の感想より一部抜粋>

- ・発達障がいがある方の気持ちの理解ができました。とても参考になりました。
- ・普段何気なく過ごしていたことも、相手のことを思った一言や一つの行動を付け足すことで、誰もが過ごしやすい日々を築けていけると思いました。発達障がいは特別なことではなく誰にでも当てはまる当たり前のことであることを多くの人に知ってほしいです。
- ・私たちが理解していることが大事で、生活しやすい環境を作ることも大事だと思いました。
- ・これまでの自分の行動について考えさせられました。「人の行動一つ一つにはちゃんと理由がある」、その時「じゃあ、どうすれば?」「自分に何ができる?」もう一度じっくり考えるチャンスをありがとうございました。
- ・実際に体験してみてとても良かったです。自分が逆の立場だったらどうするのかわからないと思いました。家族、お友達、横のつながりでもっと過ごしやすい環境になって頂けるように力になりたいと思います。

ペアレントメンターさん(スタッフ)の感想: 沢山の方に来て頂いてありがとうございました。今回、子供だけでなく大人の発達障がいについて、話をしてくださった方も多かったと思います。